

3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、日頃から地域の環境美化・保全活動や、建設業ふれあい活動、社会福祉活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれ、建設業のイメージアップにつながっています。

平成 24 年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 12 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-02	岡山県	(株)カザケン	台風 12 号災害応急復旧活動
B2-01	青森県	(株)大坂組	地下歩道清掃活動
B2-02	宮城県	丸か建設(株)	スマイルロード・サポーター
B2-03	山形県	白岩土木建設(株)	公園地(白山神社)除草作業による環境美化活動
B2-04	富山県	得能組(株)	チューリップ街道実行委員会の環境美化活動
B2-05	和歌山県	木下建設(株)	一万人大掃除と海岸清掃活動
B3-01	北海道	(株)中山組	「緑の募金活動」で地球環境の保全に貢献
B3-02	岩手県	刈屋建設(株)	環境保全活動への取り組み
B4-01	北海道	西江建設(株)	十勝川イカダ下り
B4-02	滋賀県	三大宝建設(株)	チャレンジウィーク
B5-01	北海道	石塚建設興業(株)	施設の窓ガラス清掃奉仕活動
B5-02	山形県	(株)柿崎工務所	高齢者等世帯に対する除排雪ボランティア

(1) 災害復旧支援活動

会員企業の災害復旧支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-02	岡山県	(株)カザケン	台風12号災害応急復旧活動

事例 B1-02 : 岡山県

台風12号災害応急復旧活動 ((株)カザケン)

平成23年9月3日～4日未明にかけて中四国地方を襲った台風12号は、瀬戸内沿岸に大きな被害をもたらし、岡山県を13年ぶりに直撃した台風は、記録的な雨量を観測し、家屋の浸水被害や避難勧告の発令等、市民生活に大きな影響を与えた。

県内の小田川では、本流である一級河川高梁川の水位上昇に伴って氾濫が懸念された。そのため9月3日には、(株)カザケンに国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所から大型土嚢運搬の出動要請があった。同社ではすぐに、待機していた大型車両5台で土嚢運搬・設置作業を実施し、氾濫の未然防止を図った。また、小田川付近にある畑の液状化箇所でも土嚢による応急復旧作業を実施するなど、厳しい作業環境のもとでの的確な応急対策を行った。さらに道路冠水の状況についても、2名4班体制で迅速に確認するなど、災害の拡大や二次災害の防止に貢献し、平成24年2月には国土交通省中国地方整備局長より感謝状が贈られた。



土嚢の仮置き



土砂流出防止土嚢積



応急対策箇所土嚢撤去状況



国土交通省からの感謝状

(2) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の5事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B2-01	青森県	(株)大坂組	地下歩道清掃活動
B2-02	宮城県	丸か建設(株)	スマイルロード・サポーター
B2-03	山形県	白岩土木建設(株)	公園地(白山神社)除草作業による環境美化活動
B2-04	富山県	得能組(株)	チューリップ街道実行委員会の環境美化活動
B2-05	和歌山県	木下建設(株)	一万人大掃除と海岸清掃活動

事例 B2-01：青森県

地下歩道清掃活動 ((株)大坂組)

(株)大坂組では、地域の環境美化活動の一環として、平成11年より毎月1回、土曜日に地下歩道3箇所で行っている。

清掃活動には、役員、社員をはじめ、グループ企業も参加し、ゴミ拾いや水洗い清掃を実施している。冬季には雪かきなども行い、近隣小中学校の通学路の安全を確保している。

清掃開始当初は、ゴミやたばこの吸い殻などのポイ捨てが多かったが、最近ではそのようなゴミは減ってきており、同社のこれまでの地道な活動が、地域住民の環境意識の改善に繋がってきている様子が伺える。

平成14年には、国土交通省東北整備局青森河川国道事務所と「ボランティア・サポート・プログラム協定」を締結し、これまで以上に責任ある活動として取り組んでいる。この活動は青森河川国道事務所のホームページでも紹介されており、平成16年には青森河川国道事務局長より感謝状が贈られた。



地下道の清掃活動



冬季の雪かき作業



水洗い作業

スマイルロード・サポーター（丸か建設（株））

丸か建設（株）では、平成 19 年より加美地区の地域貢献活動の一環として、歩道 900m 及び緑地帯 2 ヶ所の清掃植栽のボランティア活動を開始した。

この活動は、平成 20 年 7 月には宮城県北部土木事務所から「スマイルロード・サポーター」の認定を受けており、現在まで継続して毎年実施してきている。

また、平成 22 年 6 月には大崎市三本木地区の歩道 500m、植栽 1 ヶ所の清掃活動を行い、大崎三本木営業所から認定を受けており、現在まで活動を継続している。

これらのボランティア活動は、毎月第三土曜日を活動日として、年 6～8 回、平均 20 名の参加者で実施している。

活動の一環として 5 月には、大崎市三本木地区の緑地帯 480 m²にマリーゴールド 1,500 本、ペゴニア 700 本を植栽している。他の月には歩道のゴミ収集、草刈りや路肩の刈払い等を実施、冬季には歩道の除雪作業も行っている。

同社は、宮城県加美郡加美町の入口となる場所を美しく保ち、来町者に良いイメージを持ってもらえるよう、今後も活動を継続していく方針である。



加美地区の路肩刈払い



加美地区での緑地帯植栽



加美地区の歩道除雪



大崎三本木地区での緑地帯植栽



大崎三本木地区の歩道清掃と草刈り

公園地（白山神社）除草作業による環境美化活動（白岩土木建設（株））

（株）白岩土木建設は、地元の金山町内にある白山神社公園地の広大な敷地の整備と除草作業を会社全体で取り組み、地域の環境美化に努めている。

活動のきっかけは、同社社長の「公園地のそばで働いている者としてこの場所を大切にしてもらいたい」との思いからで、「国民安全の日」である7月1日に同社の安全大会の開催に先立って行われている。今回は約60名が参加し、膝まで伸びていた雑草がきれいに刈り取られ、わずか1時間ほどで見違えるほどきれいになった。

また、地元の小学生や父兄に対して、冬期間の除雪に対する理解と通学時の安全確保のため、「除雪機械試乗体験及び交通安全教室」を継続して開催している。この活動は、冬の交通事故を防ぐための交通講話の後、除雪車に関する説明を聞き、乗車体験で実際に簡単な操縦を試みるもので、地元小学生の交通事故防止に役立っている。

この2つの事業は、地域の住民から頼りにされると同時に、建設業界のイメージアップにもつながっており、同社の永年にわたる地域貢献に対して、金山町的場地区長より感謝状が贈られている。



金山町羽場地区からの感謝状



公園地（白山神社）の除草作業



除雪機械試乗体験の様子

チューリップ街道実行委員会の環境美化活動（得能組(株)）

富山県砺波市は、チューリップの球根生産量が日本一の「花の町」である。ここに本社をおく得能組(株)は、砺波市内の国道156号線沿線を中心に、花と緑が満ち溢れる街道をつくる環境美化活動に取り組んでいる。

この活動は、「となみチューリップフェア」に訪れる観光客を花で歓迎するために平成5年から始められた事業で、国道156号線沿いの事業所などで構成される「となみチューリップ街道実行委員会」によって実施されている。発足当初に同社社長が実行委員として参加して以降、同社は、企業として活動の中心・中核となって活動を支えてきている。

活動は、秋にチューリップの球根やパンジーの花をプランターに植え込むことから始まり、春には「となみチューリップフェア」の開催にあわせて国道156号線沿いの歩道約2.5kmにプランターを並べ、花で彩っていくものである。同社からは毎年延べ20名程が参加している。

作業中に出たゴミはもちろんのこと、付近のゴミなども回収し景観保全に努めており、平成19年には国土交通省北陸地方整備局長から実行委員会に対して感謝状が贈られた。また、同社へも平成21年に実行委員会から感謝状が贈られている。



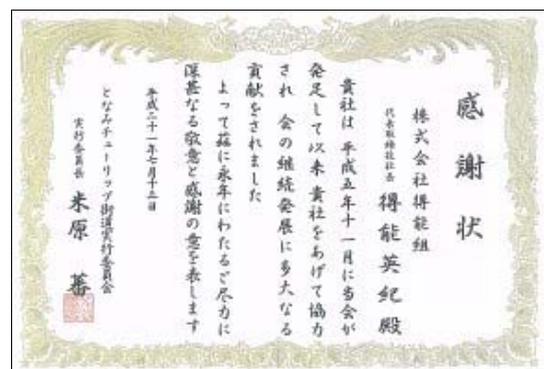
国道を彩るプランター



歩道にプランターを設置



国土交通省からの感謝状



実行委員会からの感謝状

一万人大掃除と海岸清掃活動（木下建設(株)）

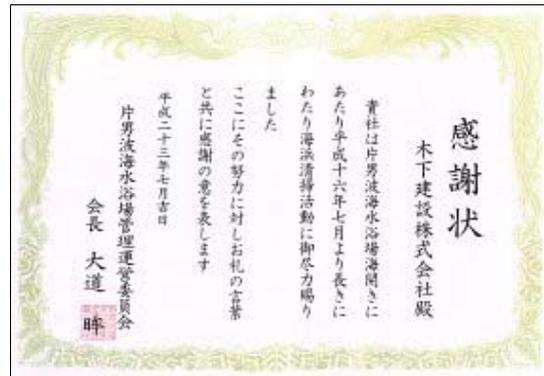
木下建設（株）は、大正 12 年に創業された地域に根付いた歴史のある企業で、これまで様々な貢献活動に取り組んでいる。

和歌山市が美化推進事業の一環として実施している「一万人大掃除」には、同社が和歌山市建設業協会会長として陣頭指揮に立ち、多くの会員企業が参加するなど、事業推進の原動力となっている。

また、和歌山市和歌浦地区に所在する企業であることから、平成 16 年から毎年、片男波海水浴場の遊泳者の安全を図るため、海開きに合わせて社員総出による海浜の清掃を行っている。平成 23 年には片男波海水浴場管理運営委員会から感謝状が贈られている。

さらに、和歌山市主催の総合防災訓練に積極的に参加し、防災意識の向上、県民の安全・安心の確保に努めている。

その他、近畿大学付属和歌山高等学校・中学校のグラウンドでは、道路整備に実績のある同社保有の機械を駆使して整地作業を行い、これまで人力で整地していた学校関係者、生徒たちから、とても感謝されている。



海水浴場管理運営委員会からの感謝状



片男波海水浴場海浜清掃の様子



「一万人大掃除」への参加



高校・中学校のグラウンド整地作業



(3) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B3-01	北海道	(株)中山組	「緑の募金活動」で地球環境の保全に貢献
B3-02	岩手県	刈屋建設(株)	環境保全活動への取り組み

事例 B3-01：北海道

「緑の募金活動」で地球環境の保全に貢献（(株)中山組）

(株)中山組では、3年前に若手社員より「全社で取り組む社会貢献活動を検討してはどうか」という意見が出されたことをきっかけに、地球環境の保全活動として「緑の募金活動」に取り組んでいる。

この活動は、①各地の工事事業所等に「緑の募金箱」を設置し、関係取引先等に募金の協力を願う、②全社員が使う名刺に「国土緑化推進ロゴマークとスローガン」を印刷、1枚使う毎に1円を募金する、③各事業所に緑の募金を組み合わせた自動販売機を設置し1本1円を募金する、といった3点で構成されている。

あるマンションの大規模修繕工事では同社の社会貢献の取り組みが管理組合に理解されて、マンションエントランスに「緑の募金箱」を設置した。その結果、多くの住民からの協力があつた。

活動は3年目を迎えており、募金額は年間約35万円と僅かではあるが、社員だけでなく関係取引先へも地球環境保全の意識付けになるという効果があつた。平成23年には緑の募金活動を推進する国土緑化推進機構から感謝状が贈られた。

募金の一部は、東日本大震災による被災地の復興支援にも活用されることから、同社では、今後も一層活動を充実させていきたいと考えている。



(社)国土緑化推進機構からの感謝状



「緑の募金」街頭募金活動の様子



マンション修繕工事で「緑の募金箱」を設置

環境保全活動への取り組み（刈屋建設(株)）

刈屋建設(株)では、これまで様々な環境保全活動に取り組んでいる。

平成23年9月12日～13日の2日間、茂市地区にある刈屋川の清掃及び支流からの堆積土砂除去する河川清掃活動を実施している。平成23年10月28日には、「平成23年度 宮古クリーンセンター作戦」（建設業協会宮古支部及び岩手県宮古土木センター主催）に参加し、閉伊川河川公園内の除草作業を行った。平成23年10月29日には、姉吉漁港から鮎山までの歩道整備、清掃と草刈機による除草を行っている。

さらに、広域廃棄物受入先啓蒙活動支援として視察や取材への協力や、バイオディーゼル燃料（BDF）利用拡大実験にも参加、温暖化対策にも取り組み、多岐にわたる活動で環境保全に努めている。



刈谷川の支流からの堆積土砂除去



閉伊川河川公園の除草作業



遊歩道の整備



歩道整備と清掃活動



広域ガレキ処理の作業状況



BDF（バイオディーゼル）利用拡大実験

(4) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B4-01	北海道	西江建設(株)	十勝川イカダ下り
B4-02	滋賀県	三大宝建設(株)	チャレンジウィーク

事例 B4-01：北海道

十勝川イカダ下り (西江建設(株))

十勝川は十勝平野の中心部を流れ、上流は上川郡新得町の十勝岳に始まり、下流は中川郡豊頃町の太平洋にそそぐ一級河川で、十勝地方を代表する河川である。

十勝川イカダ下りは、川に触れ合い親しむ機会を作ることを目的に、昭和48年に有志が呼び掛け合い始まった。各参加者が自作したイカダに乗って帯広市のすずらん大橋をスタート、音更町の十勝中央大橋に至る約10.3kmを下る、39回を数えるイベントである。

西江建設(株)では、平成9年に社員数名が十勝川イカダ下り実行委員会に参加し、以後、中心的な存在となってイベントを牽引してきた。また、イベント当日には、十数名がボランティアとして参加するなど、運営sについても会社をあげて協力している。

十勝川イカダ下りは、帯広を始め、十勝管内町村からも多くの住民が参加する大きなイベントに成長している。今では100艇を超える自作イカダと1,000人を超える参加者で盛り上がる、十勝を代表する夏の風物詩になっている。



十勝川イカダ下りパンフレット



十勝川イカダ下り開催の様子

チャレンジウィーク（三大宝建設（株））

三大宝建設（株）では、次世代を担う若者である栗東市内の中学生を対象に、環境意識を深めてもらうことを目的に職場勤労体験学習（チャレンジウィーク）の体験事業所として生徒の受け入れをしている。

チャレンジウィークは滋賀県教育委員会が「総合的な学習」の一環として行うもので、中学2年生が5日間の職場体験をする取り組み。同社では、平成17年度より生徒の受入態勢を整え、再生路盤材の生産工程の体験学習を実施してきている。これまで7年間の活動で25名の生徒が体験学習を終え、学校からは環境問題に有意義な学習として高く評価されている。

同社は、こうした活動の取り組みを通じて建設業の啓蒙とイメージアップを図るとともに、将来を担う子供たちに地球温暖化防止への関心をもってもらうため、今後も引き続き活動していく考えである。



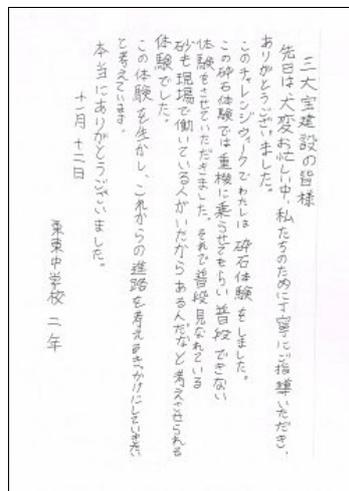
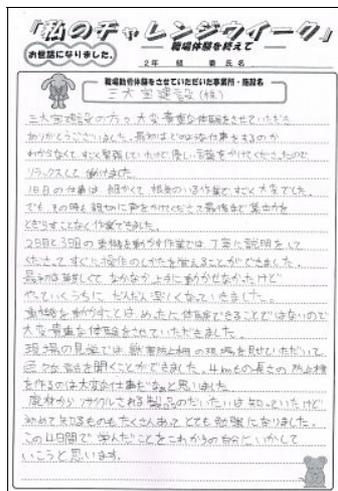
チャレンジウィークのパンフレット



チャレンジウィークの概要



実施体制



参加した中学生からの感謝状



(5) 社会福祉活動

会員企業の社会福祉活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B5-01	北海道	石塚建設興業(株)	施設の窓ガラス清掃奉仕活動
B5-02	山形県	(株)柿崎工務所	高齢者等世帯に対する除排雪ボランティア

事例 B5-01：北海道

施設の窓ガラス清掃奉仕活動（石塚建設興業(株)）

石塚建設興業（株）では、社員親睦団体「宗友会」が平成19年から稚内市内の知的障害者施設の窓ガラス清掃を実施している。宗友会では昭和58年から、知的障害者施設の稚内緑ヶ丘学園と稚内はまなす学園に、雪と氷の滑り台を製作し、寄贈してきていた。その後、施設利用者が高齢化したため、平成19年からは雪解け後の窓ガラス清掃に変更して継続実施してきている。

平成23年度は、5月21日（月）に清掃用具を手にした会員25人が作業に取り組み、施設利用者が快適に過ごせるように窓を磨き上げた。

宗友会ではこの清掃奉仕活動の他にも、国道の歩道のゴミ拾い、雑草除去や道立宗谷ふれあい公園内の集景地周辺の環境整備、地元漁港による河川流域での植樹活動等にも参加し、積極的に社会貢献活動を行っている。



知的障害者施設の窓ガラス清掃作業



ふれあい公園の清掃



歩道の除草作業

高齢者等世帯に対する除排雪ボランティア（株）柿崎工務所

（株）柿崎工務所では、平成 18 年から新庄市社会福祉協議会が実施する高齢者世帯等除雪支援事業に参加している。この除雪支援事業は、自力での除雪が困難な高齢者世帯等の住宅の屋根の雪下ろしや軒先の除排雪をボランティアで実施するものである。

同社では、例年参加する企業が少なく、毎年継続して参加しており、平成 23 年までの 6 年間で延べ 48 世帯の除排雪を実施した。

この活動の様子は、新庄市社会福祉協議会の「社協だより」にも掲載された。また、平成 22 年 3 月には協議会より感謝状が贈られ、山形新聞に紹介された。

同社では、建設業界のイメージアップにもつながるこの活動を継続し、今後も社会貢献していく考えである。



「社協だより」の掲載記事



高齢者世帯の住宅の除排雪作業



屋根の雪下ろし



新庄市社会福祉協議会からの感謝状